



管理栄養士

栗栖いずみ

今月の記事

栄養ケアマネジメント

白浜へ遠足

ユニット便り

リレーエッセイ

今月の愛の園

栄養ケアマネジメントについて

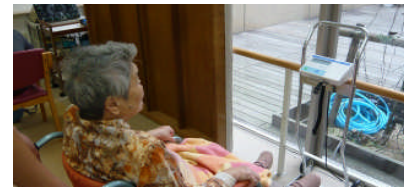
栄養ケアマネジメントは2005年10月に、食べることにより低栄養状態を予防・改善することで、高齢者の生活機能を維持・向上することを目的として導入されたものです。それまでは、集団での栄養ケアが行われていたましたが、栄養ケアマネジメント導入後は、個別の栄養ケアが行われる様になりました。

栄養ケアマネジメントは、今までケアマネジャーが行ってきたケアマネジメントと別の物ではなく、ケアマネジメントの中の栄養・食事サービスのことで、管理栄養士が一人で行っているのではなく、医師、看護師、ケアマネジャー、ケアワーカーなどと協働して行っています。栄養ケアマネジメントには、食事内容や補助食品の検討だけでなく、口腔ケアによる口腔機能の向上や誤嚥性肺炎の予防なども含まれます。

愛の園では、毎日の食事量や水分量の確認、毎月の体重測定、年に2回の血液検査の結果などを元に栄養ケアを行っています。急激な体重の減少は体力や抵抗力の低下につ

ながるため、特に食事量や体重の変化に気をつけています。同じ様な生活をし、同じ物を食べていても、体重が増える方や減る方などさまざま、その背景には今までの生活や食習慣がある為、一人一人にあった栄養ケアを行うのは難しいことでもありますが、出来るだけ長く食べる楽しみを味わえる様に支援していきたいと思ひます。

先月、「ナマモノの持ち込みについて」でご案内いたしましたが、これからの季節は食べ物が傷みやすいため、10月31日までの間、ナマモノの持ち込みをお控えください。お持ち込みになる場合は、1回で食べきれ分量としてくださいますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



車いすのままでも体重を測ることができます



岩田幼稚園の園児が花の日の訪問に来てくれました 5/21

春の遠足に行ってきました！

5月31日、白浜のアドベンチャーワールドへの春の遠足に、今年初めて参加しました。参加予定であった14名の入居者の方々の体調もよく、元気に出発しました。

前日まで雨が続いていましたが、当日は運よく晴天に恵まれて遠足日和となり、出発時のバスへの乗車もスムーズに行うことができ、到着予定時間よりも早く着きました。

道中バスの中では、「ここ、昔はこんな

違ってたんで。」などと、久しぶりに通る景色が変わっていることに驚かされている入居者の方もおられました。

マイクロバスでそのまま入場し、サファリパーク内の動物を観ました。間近で観る肉食動物の迫力に興奮を隠せない様子で、夢中になって動物を目で追い、顔も自然と笑顔であふれていました。

昼食も輪になり和気あいあいとお弁当をおいしそうに食べ、食後は3つのグループに分かれてパンダなど園内の動物をのんびりと観覧しました。イルカショーを観た後はそれぞれが自由にお土産を見て、気に入ったパンダのぬいぐるみやおいしいそうなお菓子を楽しそうに選んで買っていました。

帰りのバスでは居眠りをしている方もおられましたが、遠足の日を十分に満喫した様子で、心配されていた体調不良もなく帰園することができました。

介護職員

橋本佳奈



パンダの前で



入口前にて全員の記念撮影



ユニット便り 1ユニット



さわやかな初夏の風が部屋を通り抜ける季節になりました。1ユニットでは季節の移ろいを感じていただけるよう、リビングに生花を飾っています。皆さんも花を見ると笑顔になり、テーブルの上に置くと「もうそんな季節かあ」と喜んでくださいます。

入居者の皆さんには、お一人お一人自由な生活を過ごしていただいています。食事は10人全員ではないのですが、リビングで一緒に召し上がっていただきます。食事時の出来事ですが、自分の嫌いな物を「私、いらんからあげら」と隣の方にあげたり、こぼしていたら「いっぱいこぼして」、「お口へ入れなさい」と笑いながら言ったり、箸を止めている方がいたら「頑張ってたべよし」と励ましたり、そのような微笑ましい姿を拝見しています。

入居者の皆さんは毎日職員に笑顔を見せて

くださいます。ありがとうございますと何回も言ってくださることが、私達にとって喜びになり、活力にもなります。お礼に母の日にお花をプレゼントし、お一人お一人の写真撮影をしました。カメラを向けると皆さん笑顔になり、楽しい時間を過ごしました。

入居者の皆さんは暮らしてきた環境や価値観がそれぞれ違いますが、今は同じ空間で生活されています。私達職員は皆さんお一人お一人が生活しやすく、また日々楽しく過ごしていただけるようサポートし、家庭的なユニット作りを目指していきたく思います。

若葉の季節は何事にも度を越しがちです。ご家族の皆様も体調を崩すことのないようお体をご自愛下さい。ご意見・ご要望等がございましたらいつでもお聞かせ下さい。

リレーエッセイ(12)

「渡せない手紙」

『周りの人がおじさんばかりだと思っていたのに、いつの間にかそのおじさんと言う年齢になっていた。』子供の時に読んだ父親の原稿がその様な文章から始まっていたのが、最近になって思い出される。子供の頃には、その文章を見て「何を書いているんだ?」と思っていたのだが、最近になって「確かに」と実感に変わる。『時間が経つのが早い。』そういう内容だったのだ。父が何の為に書いた原稿かは思い出せず、聞く相手も亡くなって今年で13回忌になる。

私にとっての父親は、遊んでもらった覚えはあまりなく、家にいるイメージなどは全くない。自分の好きな事をして、色々な事に一生懸命。困っている人に手を差し出すが、短気な事がある。そんな感じの父親だった。

その父親が亡くなる数日前、お酒を飲みながら普段話さなかった仕事の話をした。「仕事

介護職員

下畑朝香

に就いたなら、その道のプロを目指せ。」と、その言葉を何度も何度も繰り返していた。

私にとって、その話が父親と最後の言葉になった。10年以上過ぎた今でも、未だにその言葉を果たせず、時間だけが過ぎていく気がして、迷いながらも少しずつでも前進しているのか?と考える事もある。その為か、時間が経つのが早いあと、あの文章を思い出す。

この文章は、父への渡せない手紙なのか?と考え、恥ずかしながらリレーエッセイで書かせてもらいました。

自分自身の結論は、父の最期の言葉の通りのプロになるのはまだまだ未熟者ですが、色々な事に一生懸命で、困っている人に手を差し出す。そんな父の様な人を目指して行きたいと思っています。

今回は、田上美穂さんにバトンタッチしたいと思っています。宜しくお願いします。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

6~7月の愛の園

- 11(火) マリア会
- 13(木) やまびこ会
- 16(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 18(火) ひまわり会
- 19(水) 手芸サークル
- 20(木) やまびこ会
- 21(金) 社協ボランティア来園
- 23(日) 日曜礼拝
- 25(火) マリア会
- 26(水) 歯科診療
- 27(木) やまびこ会
- 30(日) 日曜礼拝

- 2(火) マリア会
- 4(木) やまびこ会

編集者から

5月25~31日は日本脳卒中協会が定める脳卒中週間でした。脳梗塞では発症後4時間半以内であれば血栓を溶かす特効薬を投与して後遺症を大幅に軽減できますが、日本では受診が遅れるため5%の患者にしか投与できていないそうです。早期受診のキャンペーンが行われており、合言葉は「FAST = 素早く」です。

FACE = 顔の歪み、片側が垂れる

ARMS = 片側の腕が垂れ下がる

SPEECH = ろれつが回らない、発語できない

TIME = 発症時間 & 救急車を呼ぶ時

F、A、S のどれかの症状が家族、友人、周囲の人に現れたら、発症時間を確認してすぐに救急車を呼ぶ、と覚えておきましょう。(A)